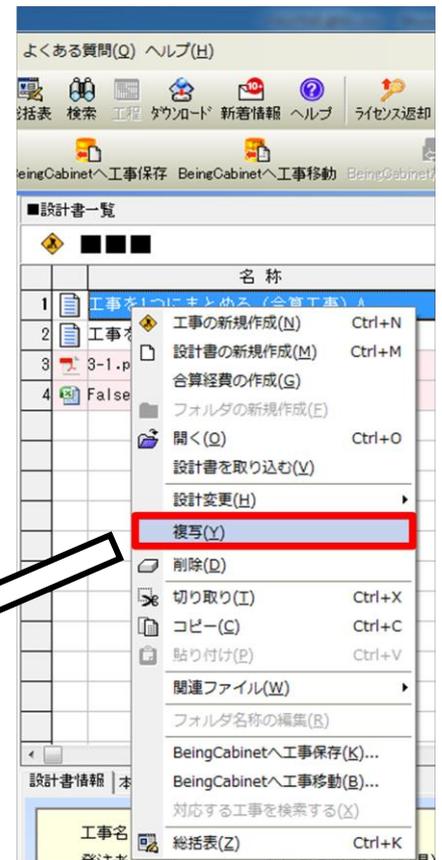


積算 (別工事をまとめる)	工事を1つにまとめる (合算工事)
	設計書取込で別々に取り込んだ (間接費項目も含む) 工事を1つにまとめる方法を説明します。

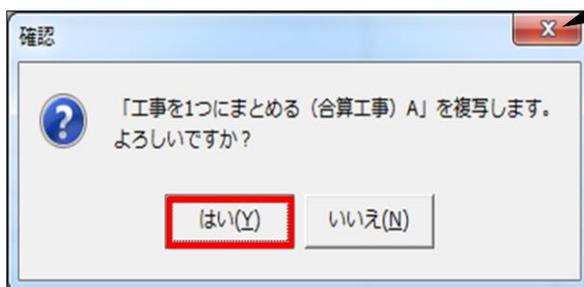
1. 工事を複製する

工事を1つにまとめると、まとめる前の状態に戻すことができませんので、念のため設計書を複製してください。

「設計書一覧」画面で複製したい工事を右クリックし、メニューの [複製] をクリックします。



[はい] をクリックします。



2. 間接費削除

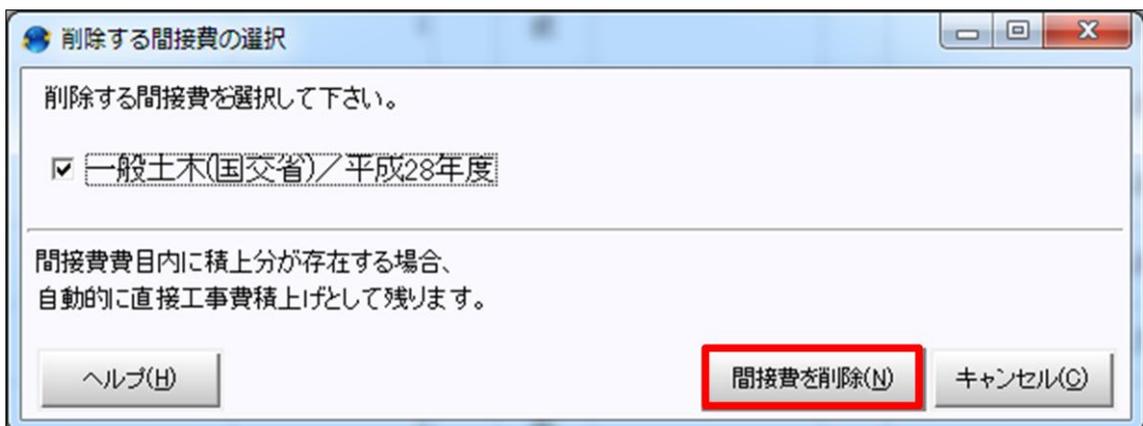
設計書取込の場合、設計書を1つにまとめるには、間接費の行を削除する必要があります。
本工事と付帯工事がある場合、先に本工事での作業を行います。

経費計算まで行っている場合は、メニューバーの [経費(C)] - [間接費削除(D)] をクリックします。



削除する間接費を選択します。

選択後、[間接費を削除] をクリックします。



設計書取込の場合は、この操作を行っても、共通仮設費の積上げ分は削除されません。

【共通仮設費積み上げ分がある場合】

共通仮設費積み上げ分のフォルダの中に積上げた表を移動します。

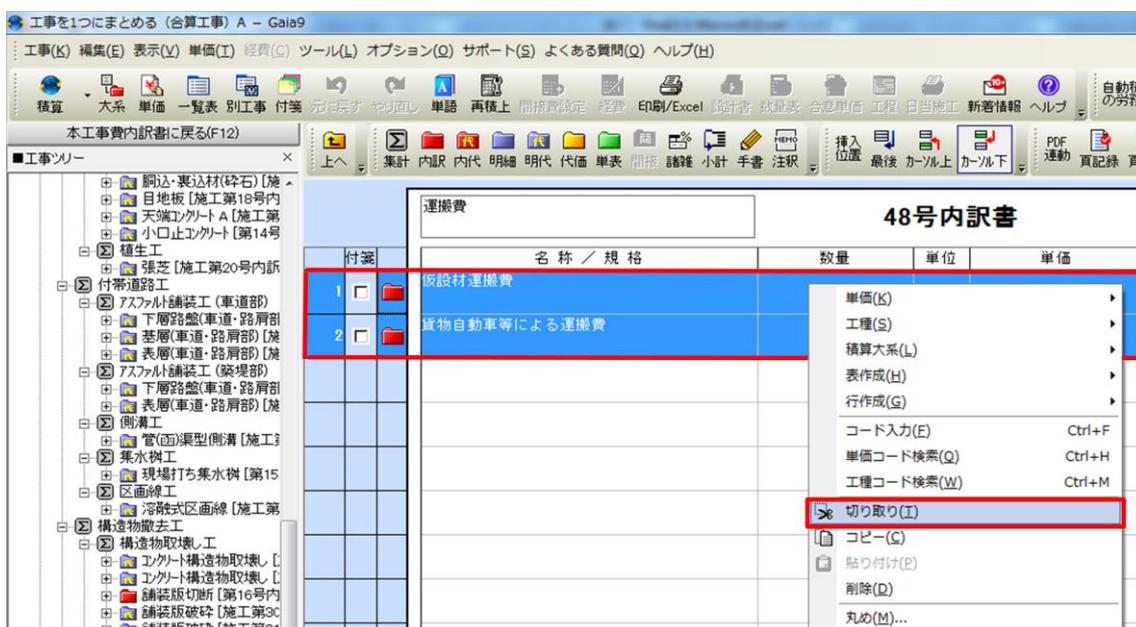
例として運搬費の積み上げを移動します。

※積み上げ項目ごとに操作が必要です。

1. 運搬費の内訳をすべて選択します。

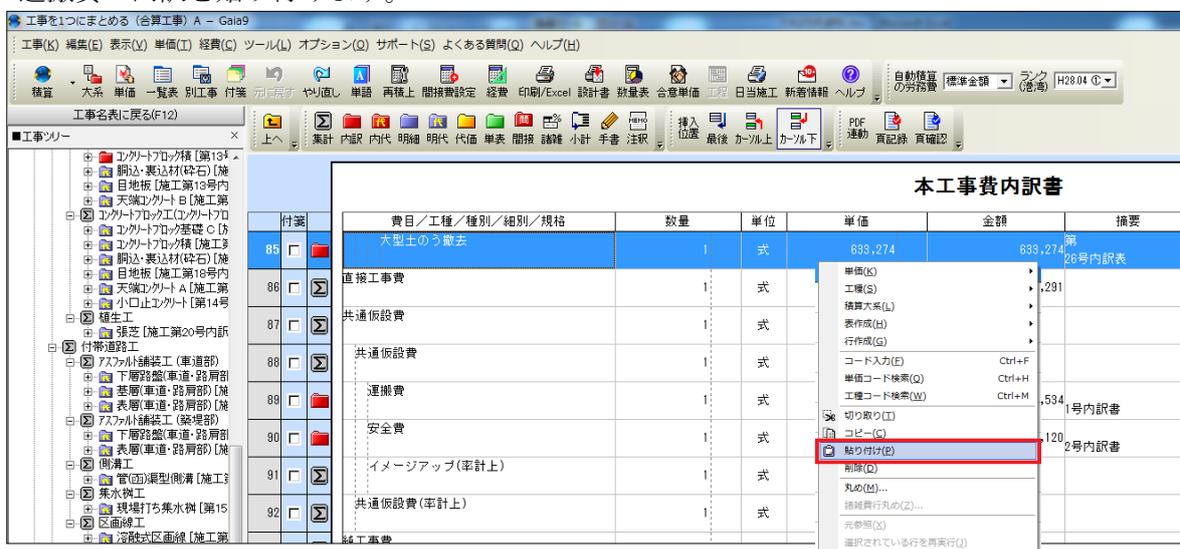
積み上げが始まる行をクリックし、[Shift] キーを押しながら積み上げの1番下の行をクリックすると一括で選択可能です。

選択した行を右クリックし、メニューの「切り取り」をクリックします。



2. 「上へ」で本工事費内訳書の画面に戻ります。

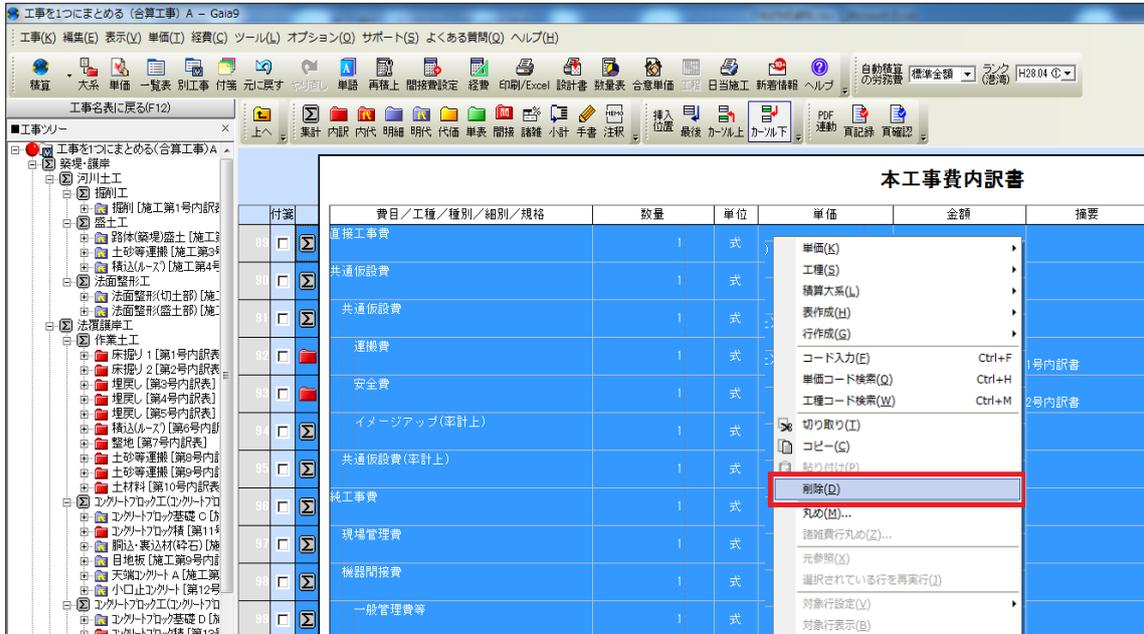
直接工事費の最後の行を右クリックし、メニューの「貼り付け」を選択し、運搬費の内訳を貼り付けます。



3.間接費の行をすべて削除します。

間接費行を全てを選択し、右クリックメニューの[削除]をクリックします。

[Shift] キーを押しながら、間接費行のはじめと、終わりをクリックすると、一括で選択可能です。

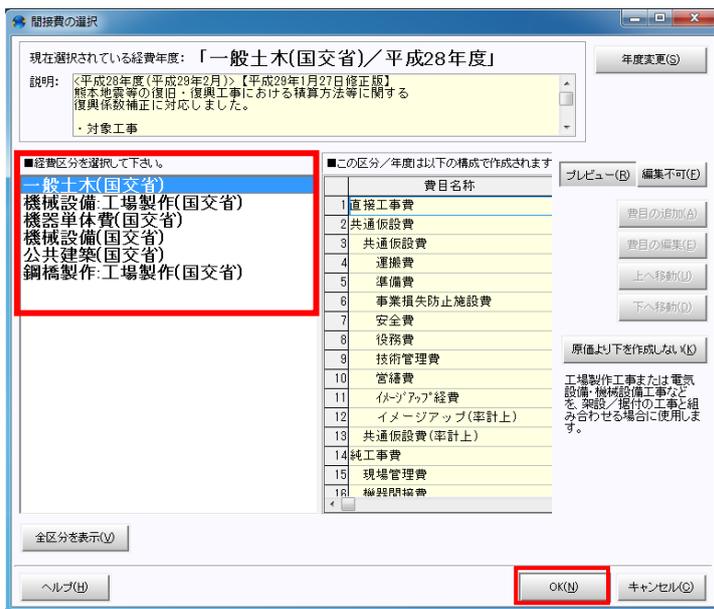


3. 間接費作成



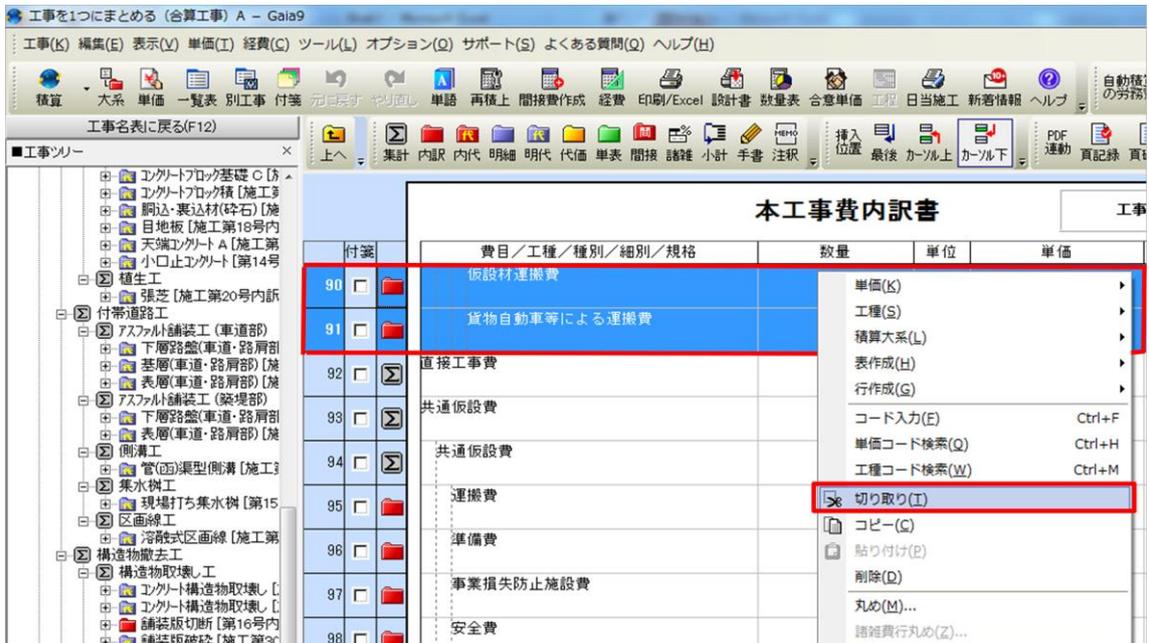
をクリックし、「間接費の選択」画面が表示されます。

該当の経費区分を選択し、画面右下の [OK] をクリックします。

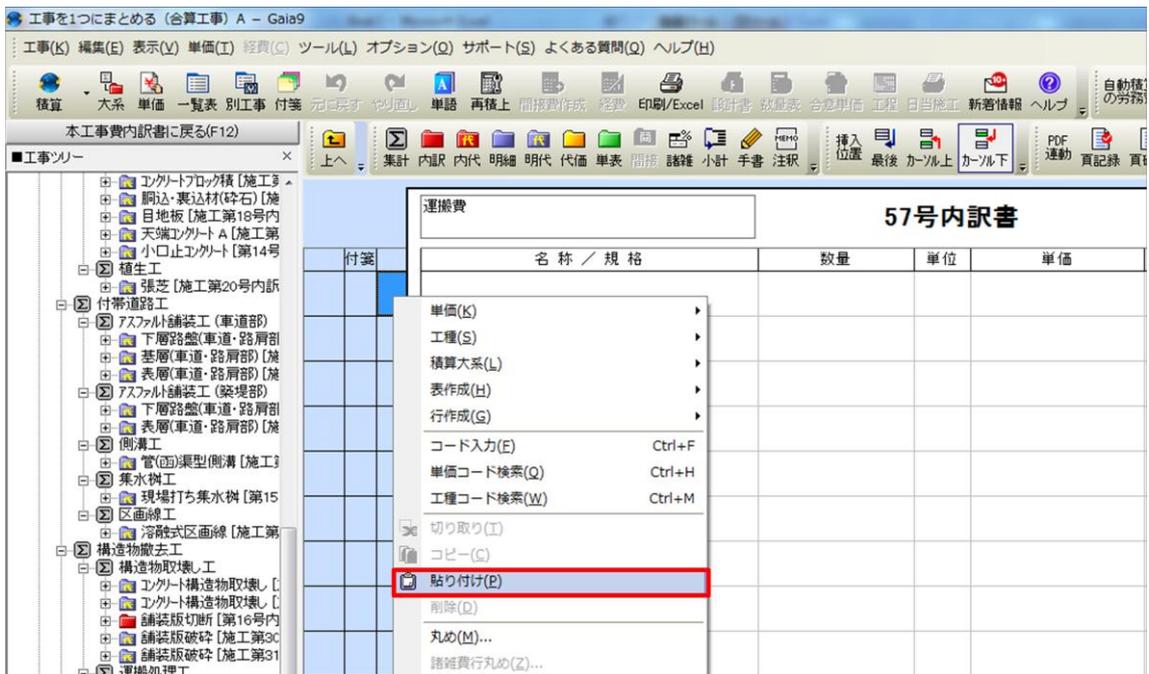


4. 共通仮設費の積上げ分の移動

手順2で貼り付けた、運搬費を、再作成した運搬費のフォルダに戻します。
運搬費をすべて選択し、右クリックメニューの「切り取り」を選択します。



再作成した共通仮設費の項目の内訳書の中で、
右クリックメニューの「貼り付け」を選択します。



本工事の作業は一旦終了です。

次に付帯工事での作業です。

【共通仮設費積み上げ分がある場合】

共通仮設費積み上げ分のフォルダの中に積上げた表を移動します。

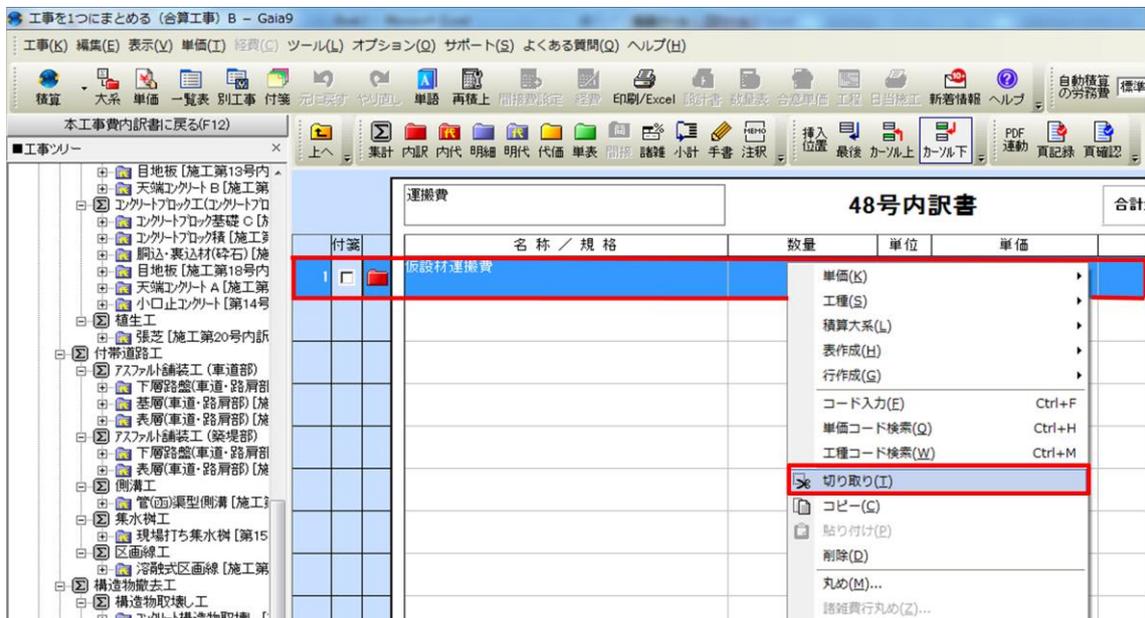
例として、運搬費の積上げを移動します。

※積上げ項目ごとに操作が必要です。

1. 運搬費の内訳をすべて選択します。

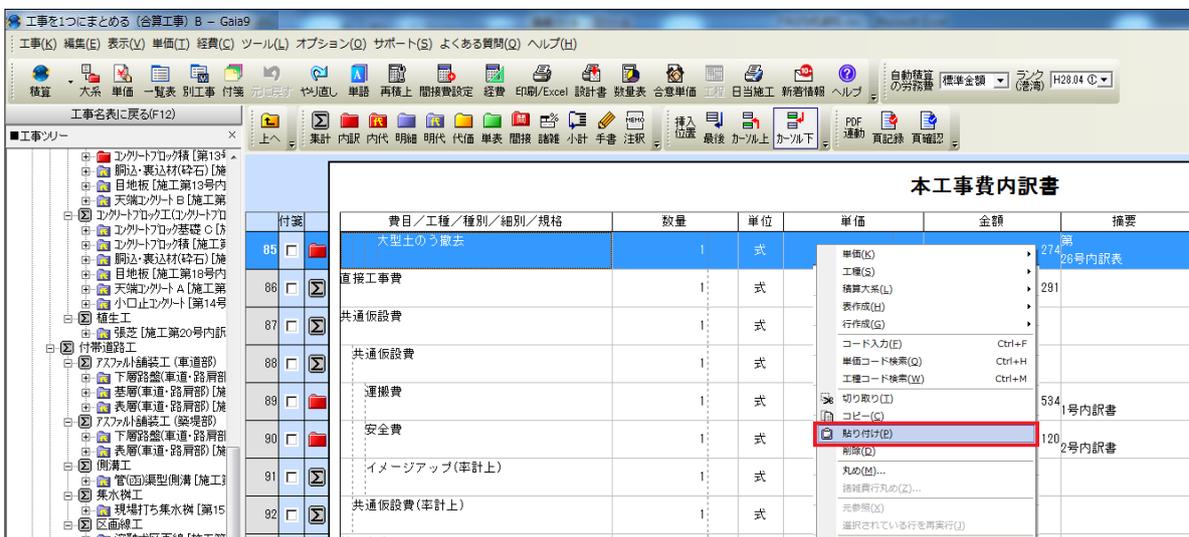
積上げが始まる行をクリックし、[Shift] キーを押しながら積上げの1番下の行をクリックすると一括で選択可能です。

選択した行を右クリックし、メニューの[切り取り]を選択します。



2. [上へ] で「本工事費内訳書」画面に戻ります。

直接工事費の最後の行を右クリックし、メニューの[貼り付け]を選択し、貼り付けます。



5. 内訳表にまとめる

1.直接工事費を全て選択し、右クリックメニューの[表作成]→[内訳書にまとめる(1)]をクリックします。

[Shift] キーを押しながら、直接工事費行のはじめと、終わりをクリックすると、一括で選択可能です。

The screenshot illustrates the process of summarizing direct construction costs into an internal breakdown table. The top part shows a detailed list of items with a context menu open, highlighting the 'Table Creation' and 'Summarize into Internal Breakdown Table (1)' options. A red arrow points to the bottom part of the screenshot, which shows the resulting summarized table with a single row for 'Direct Construction Costs'.

付箋	費目/工種/種別/細別/規格	数量	単位	単価	金
1	河川土工			986.3	
2	掘削工				
3	掘削 土質=土砂; 施工方法=上記以				
4	構築物撤去工				
5	構築物取壊し工				
6	コンクリート構築物取壊し				
7	鉄筋構築物 機械 施工 10w3L				
8	舗装版破砕 アスファルト舗装版 舗 装版厚 5c				
9	運搬処理工				
10	鉄運搬				
11	コンクリート鉄(鉄筋)				
12	鉄処分				
13	コンクリート鉄(無筋)				
14	仮設工				
15	工事用道路工				
16	敷設板 ×1524×3048 設置・撤去 型土のう撤去			2,230,002	
17	設材運搬費			606,880	
18	設材運搬費			4,548,368	
19	費				
20	費				

付箋	費目/工種/種別/細別/規格	数量	単位	単価	金
1	直接工事費	1	式	7,897,086	
2	共通仮設費	1	式		
3	共通仮設費	1	式		
4	共通仮設費	1	式		
5	運搬費	1	式		

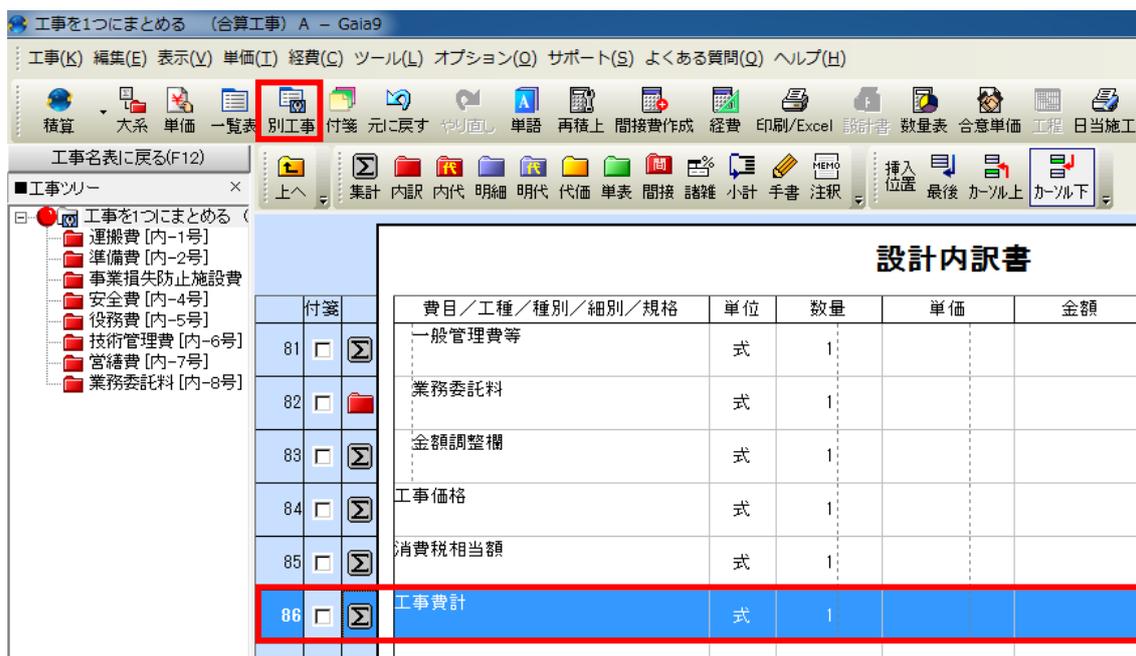
6. 工事をまとめる

手順2の工事（本工事）を開きます。

挿入位置を  にクリックします。



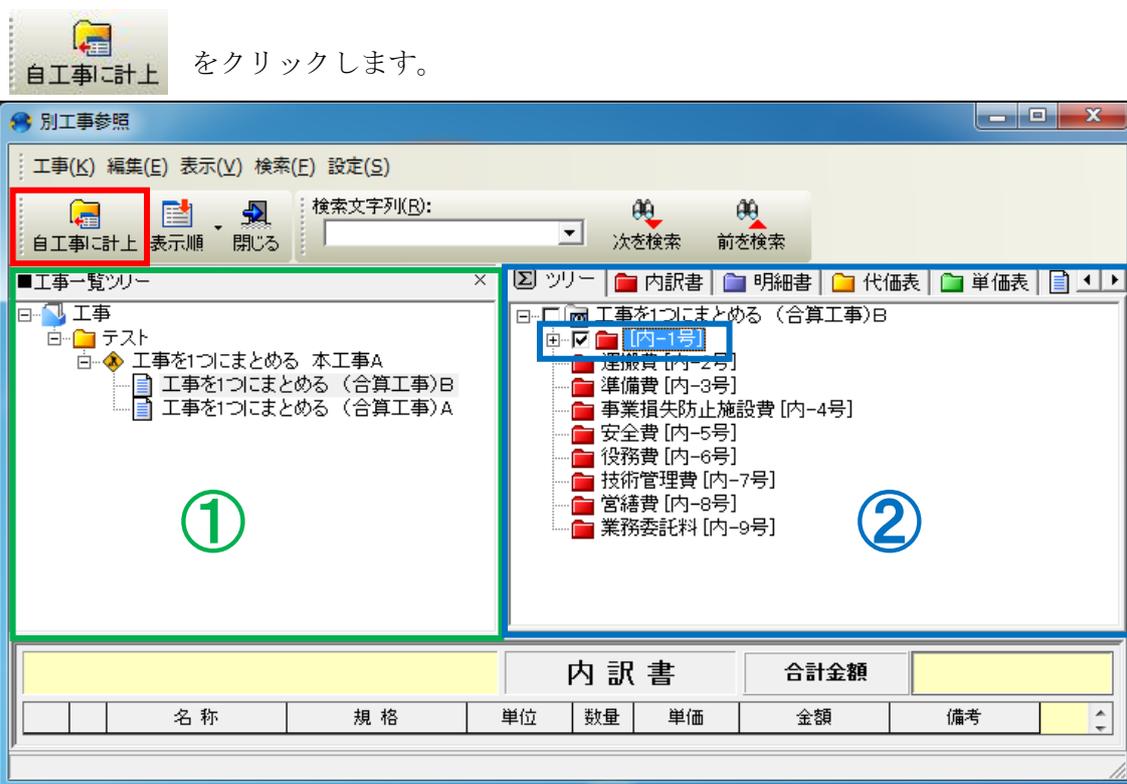
間接費の一番下の行を選択し、  をクリックします。



The screenshot shows the software interface with the '別工事' (Separate Work) icon highlighted in the ribbon. Below the ribbon, the '設計内訳書' (Design Breakdown) table is visible. The table has columns for '費目/工程/種別/細別/規格', '単位', '数量', '単価', and '金額'. The row for '工事費計' (Total Work Cost) is highlighted with a red box.

費目/工程/種別/細別/規格	単位	数量	単価	金額
一般管理費等	式	1		
業務委託料	式	1		
金額調整欄	式	1		
工事価格	式	1		
消費税相当額	式	1		
工事費計	式	1		

①工事一覧ツリー（緑）から、付帯工事をクリックし、②ツリー（青）から内訳書にまとめた付帯工事にチェックを付けます。



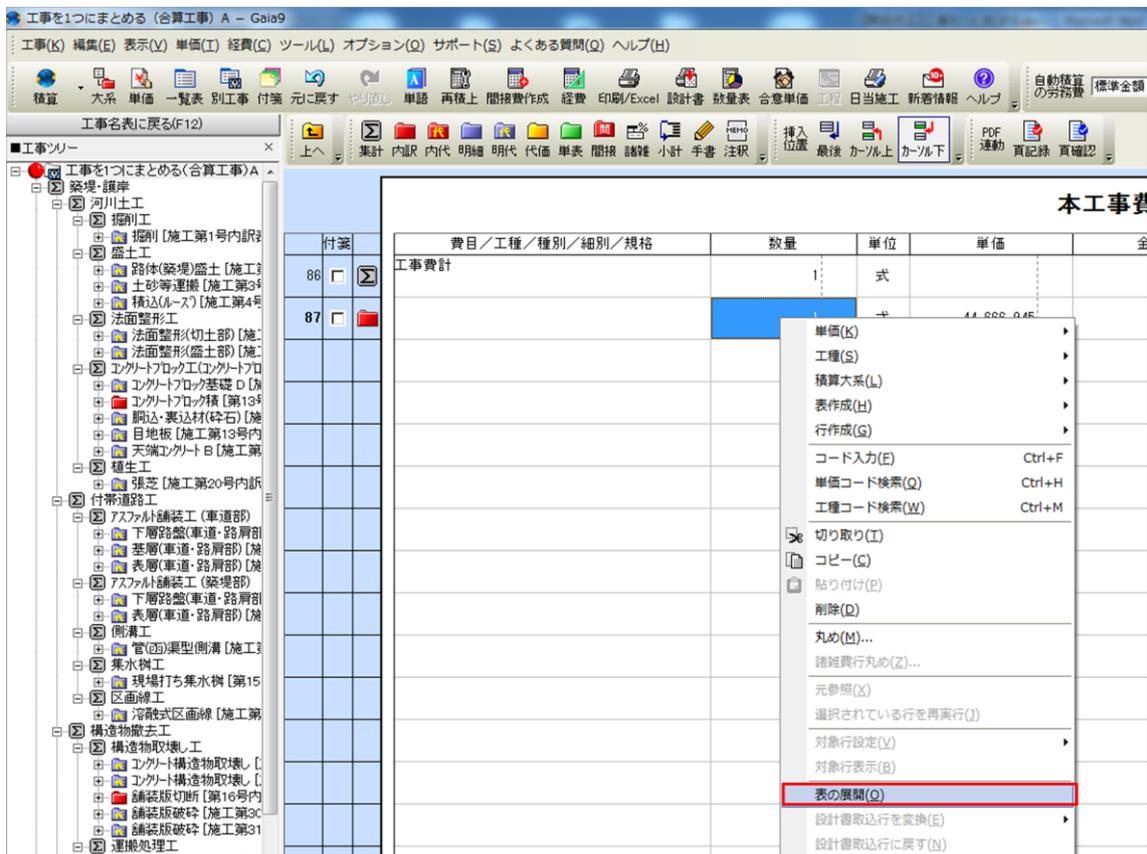
[OK] をクリックします。



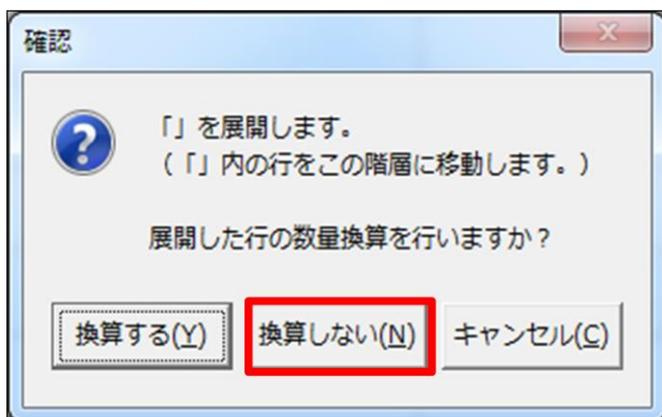
移動元の工事と移動先の工事で歩掛年度が異なる場合、計上後に歩掛を再実行する必要があります。

7. 表の展開

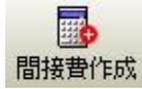
挿入した内訳書を右クリックし、メニューの「表の展開」をクリックします。



「換算しない」をクリックします。



8. 間接費の作成



をクリックし、「間接費の選択」画面が表示されます。

該当の経費区分を選択し、画面右下の [OK] をクリックします。

間接費の選択

現在選択されている経費年度: 「一般土木(国交省)/平成28年度」

説明: <平成28年度(平成28年9月)>【平成28年1月27日修正版】
熊本地震等の復旧・復興工事における積算方法等に関する
復興係数補正に対応しました。

・対象工事

年度変更(S)

■経費区分を選択して下さい。 ■この区分/年度は以下の構成で作成されます。 ■この区分/年度は以下の工種区分を含みます。

経費区分	費目名称	工種区分
一般土木(国交省)	1 直接工事費	河川工事
機械設備:工場製作(国交省)	2 共通仮設費	河川・道路構造物工事
機器単体費(国交省)	3 共通仮設費	海岸工事
機械設備(国交省)	4 運搬費	道路改良工事
公共建築(国交省)	5 準備費	鋼橋架設工事
鋼橋製作:工場製作(国交省)	6 事業損失防止施設費	PC橋工事
	7 安全費	舗装工事
	8 役務費	砂防・地すべり等工事
	9 技術管理費	公園工事
	10 営繕費	電線共同溝工事
	11 イメージアップ経費	情報ボックス工事
	12 イメージアップ(率計上)	道路維持工事
	13 共通仮設費(率計上)	河川維持工事
	14 純工事費	橋梁保全工事
	15 現場管理費	共同溝等工事(1)
	16 機器間接費	共同溝等工事(2)
	17 技術者間接費	トンネル工事
	18 機器管理費	下水道工事(1)
	19 工事原価	下水道工事(2)
	20 一般管理費等	下水道工事(3)
	21 契約保証	コンクリートダム
	22 一般管理費等計	フィルダム
	23 業務委託料	道路に関する電気設備工事(道路維持)
	24 金額調整権	道路以外の電気設備工事(河川維持)
	25 工事価格	
	26 消費税相当額	
	27 工事費計	

原価より下を作成しない(X)

工場製作工事または電気設備・機械設備工事などを架設/集約の工事と組み合わせる場合に使用します。

全区分を表示(O) 合算経費にする(G) 合算経費にしない(X)

ヘルプ(H) OK(N) キャンセル(C)

9. 間接費の積上げ分の移動

付帯工事の共通仮設費の項目を、作成した間接費のフォルダに移動します。

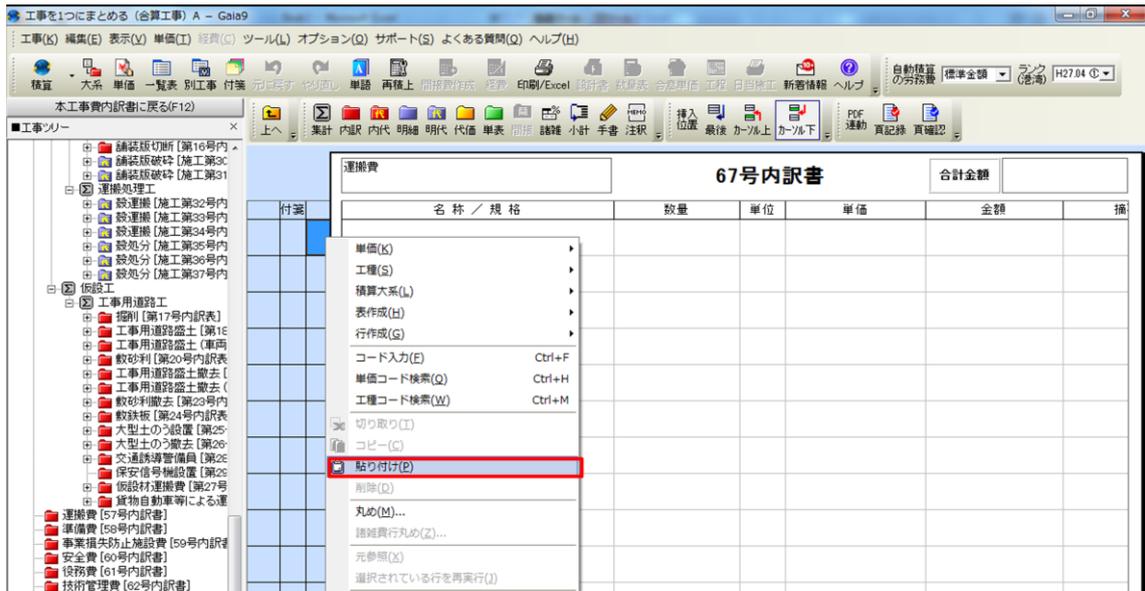
例として運搬費の積上げを行います。

※積上げ項目ごとに操作が必要です。

1. 直接工事費にある運搬費を選択し、右クリックメニューの「切り取り」をクリックします。



2. 次に運搬費のフォルダを開き、右クリックメニューの「貼り付け」をクリックします。



10. 経費計算



をクリックします。

設定を確認し、[OK] をクリックします。

再積上げの処理選択

計算を始める前に、再積上げが必要です。
再積上げの設定を確認して下さい。

再積上げの処理選択

- 単価金額を更新(U)
- 元登録単価(一般単価)の更新(Q)
- 元登録単価(労務、損料)の更新(F)
- 総括表で設定されている地区に更新(A)
- 更新する単価を一覧で表示・選択(H)
- 数量の掛け率を更新(P)
- 単価の掛け率を更新(Q)
- 丸め設定を更新(M)
 - 金額を手入力した表も丸めの更新を行う(N)
 - 間接費積上げ費目も丸めの更新を行う(T)
- 再積上げの度に設定を確認する(K)
- 号番号振り直しを行う(*) (G)

※の設定は保存されません。

OK

キャンセル

環境設定(S)...

ヘルプ(F1)

振直設定(B)...

設計書に記載されている条件を選択します。

経費の条件選択を行い、合算経費計算を行います。

①の「合算経費全体」の条件を変更すると各設計書の条件も連動します。

各設計書ごとに、個別に設定することもできますが、その場合も、

①の「合算経費全体」の条件も選択を行って下さい。

条件設定完了後、[合算経費計算を行う]より経費算出を行います。

算出結果の画面にて「この経費に決定」をクリックすると、合算経費計算結果が本工事内訳書に書き込まれます。

■ 経費条件を選択して下さい。

条件を変更するには、条件をダブルクリックするかEnterキーを押して下さい。
左端「合算経費全体」の条件を変更すると、合算で扱う設計書全体の経費条件を同じ内容にすることができます。
合算する設計書の経費条件を個別に変更するには、該当の設計書の列の条件を変更して下さい。

条件を選択したら、「合算経費計算を行う」を押して下さい。

現場管理費の冬期補正率計算
日付を決定して[計算する]と、工期と冬期から冬期補正率を算出します。
(該当期間でなければ[補正しない]になります)
※個別に変更するには各工事の条件を変更して下さい。

当初発注: ----/--/-- ~ ① ----/--/-- ② [計算する(O)]

	合算経費全体	築堤・護岸	築堤・護岸
工種区分	道路改良工事	道路改良工事	道路改良工事
イメージアップ(車分)計上区分	計上しない	計上しない	計上しない
イメージアップ(車分)補正	施工地域・工事場所による補正で選択	施工地域・工事場所による補正で選択	施工地域・工事場所による補正で選択
施工地域・工事場所による補正	地方部で施工場所が一般交通等の影響を受	地方部で施工場所が一般交通等の影響を受け地方部で施工場所が一般交通等の影響を受	地方部で施工場所が一般交通等の影響を受け地方部で施工場所が一般交通等の影響を受
除雪工事の滞り補正(施設含む)	補正なし	補正なし	補正なし
施工時期(冬期)補正	補正なし	補正なし	補正なし
緊急工事補正(施工時期と重複しない)	補正なし	補正なし	補正なし
砂防・地すべり等工事の条件	該当する条件はなし	該当する条件はなし	該当する条件はなし
前払金支出割合区分	5%を超えるもの	5%を超えるもの	35%を超えるもの
契約保証に係る補正	補正なし	補正なし	補正なし
技術者間接費率(電気通信)	計上しない	計上しない	計上しない
消費税率	8	8	8

工種区分の説明
工種区分は、工種内容によって適切に決定します。
2種以上の工種内容からなる工事については、その主たる工種区分を適用します。
なお、主たる工種とは、当該作業額(機器材料費・人費・支給品費、工場製作費及び現場工事費を含めた作業額)の大きい方の工種をいいます。

マニュアル(M) [合算経費計算を行う(N)] キャンセル(C)

経費計算の金額を確認し、[この経費に決定]を選択します。

経費一覧: 工事を1つにまとめる (合算工事) A

経費計算の新規作成(A) 経費計算の削除(D) 経費計算名称の変更(E) 経費計算結果の比較(B) ヘルプ(H) 閉じる(C)

経費区分名: 一般土木(国交省)/年度名: 平成28年度

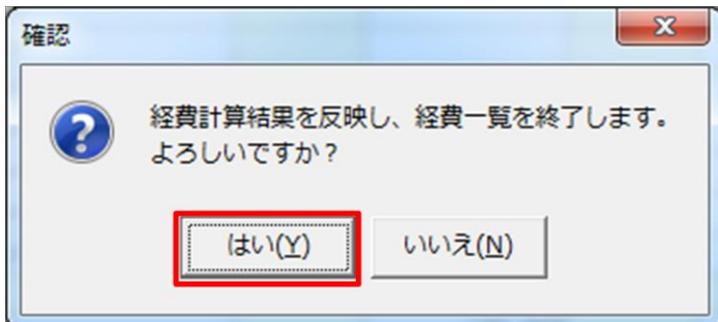
経費計算 1

[この経費に決定(D)] [再計算(S)] [条件選択(L)] [逆計算(B)] [最低制限価格(L)] [印刷/Excel(E)] [簡易表示(I)] [詳細表示(D)] [全表示(T)] [計算決定(D)]

この経費に決定を押して反映して下さい。

工事価格: 143,640,000円

[はい] をクリックします。



経費計算後に本工事費内訳書の工事価格や共通仮設費の積上げ分に金額が入っていることを確認します。

工事を1つにまとめる (合算工事) A - Gale9

工事(K) 編集(E) 表示(V) 単価(I) 経費(C) オプション(O) サポート(S) よくある質問(Q) ヘルプ(H)

自動積算の労務費 標準金額 ランク (普通) H28.04

工事名表に戻る(F12)

集計 内訳 内代 明細 明代 代価 単表 間接 諸雑 小計 手書 注釈

挿入 移動 最後 カール上 カール下 PDF 記録 記録 記録

工事名表

工事を1つにまとめる(合算工事)A

築地・橋本
河川土工
掘削工
掘削 [65号代価表]
掘削
[51号内訳書]
[52号内訳書]
法面整形工
法面整形(切土部) [施工]
法源護岸工
作業土工
床掘削 1 [第1号内訳書]
床掘削 2 [第2号内訳書]
埋戻し [第3号内訳書]
埋戻し [第4号内訳書]
埋戻し [第5号内訳書]
積込(ルース) [第6号内訳書]
整地 [第7号内訳書]
土砂等運搬 [第8号内訳書]
土砂等運搬 [第9号内訳書]
土材料 [第10号内訳書]
エクストラック工(エクストラック)
エクストラック工(第11号)
積込・裏込材(砕石) [施工]
目地板 [施工第9号内訳書]
天端エクストラックA [施工第]
小口止エクストラック [第12号]
エクストラック工(エクストラック)
エクストラック工(第13号)
積込・裏込材(砕石) [施工]
目地板 [施工第13号内訳書]
天端エクストラックB [施工第]
エクストラック工(エクストラック)
エクストラック工(第14号)
積込・裏込材(砕石) [施工]
目地板 [施工第18号内訳書]
天端エクストラックA [施工第]
小口止エクストラック [第14号]
養生工
張芝 [施工第20号内訳書]
付帯道路工

本工事費内訳書

				工事価格(合算)	143,640,000
作業	費目/工種/種別/細別/規格	数量	単位	単価	金額
87	直接工事費	1	式		37,658,252
88	共通仮設費	1	式		11,591,088
89	共通仮設費	1	式		7,814,088
90	運搬費	1	式	4,546,368	4,546,368 53号内訳
91	準備費	1	式		54号内訳
92	事業損失防止施設費	1	式		55号内訳
93	安全費	1	式	3,267,720	3,267,720 56号内訳
94	役務費	1	式		57号内訳
95	技術管理費	1	式		58号内訳
96	客語費	1	式		59号内訳
97	イメージアップ経費	1	式		60号内訳
98	イメージアップ(率計上)	1	式		
99	共通仮設費(率計上)	1	式		3,777,000
100	純工事費	1	式		49,249,340
101	現場管理費	1	式		13,873,000